

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

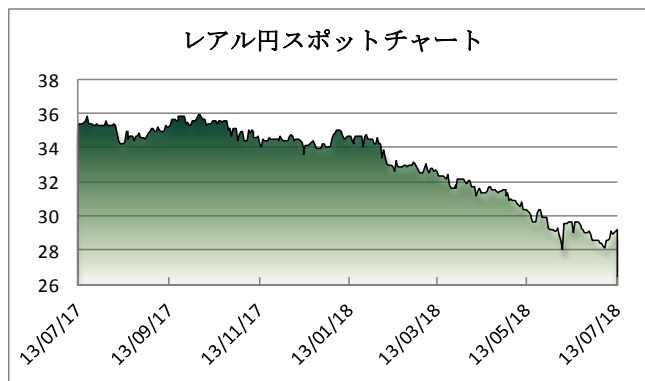
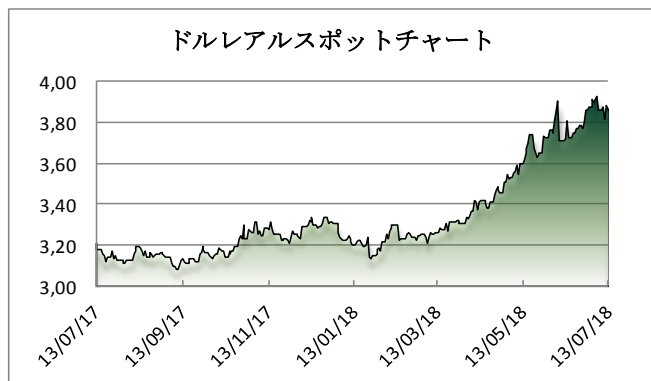
マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、米中貿易摩擦を巡る懸念が沈静化しつつあることからグローバルなリスクセンチメントも回復し、一時3.84台半ばまでレアル高が進行。本日もレアル買いが優勢の展開になると見込まれるが、Guardia財務相の発言が一部で報道されたように（「レアル相場が3.80を下回る可能性は低い」）、大統領選が依然としてオープンな状況にあることを踏まえると、レアルの上昇余地は限定的との見方が支配的である。成長見通しの悪化にも関心が高まっている。同財務相はEstado紙とのインタビューに応じ、「7月20日までに新たな経済見通しを公表する」と発言。足許の経済活動の低迷を考慮し、2018年については従来の2.50%から1.60%へ、2019年は3.30%から2.50%へ下方修正すると予想されている。今朝方公表されたブラジル中銀の週次サーベイ(FOCUS)でも、2018年の成長見通しが前週の1.53%から1.50%へ2週連続で下方修正されるなど、マーケットも悲観的な見方を強めている（2018年のインフレ見通しは4.17%→4.15%、レアル相場は3.70で不変）。また、中長期的な財政再建に関する報道も散見されている。Globo紙が報じたところによると、格付会社S&Pが、「大統領選を控えて、一部で財政出動の動きが見られる」として、財政に与える影響を注視している模様（1000億レアル程度のマイナスインパクトがあると試算されている）。この点を調査するため、同社はブラジル国庫庁のMansueto Almeida氏と今週面談すると見られる。

マーケットデータ

Indicator		Unit	7月12日	7月13日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,8809	3,8518	-0,75%	3,50%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	28,99	29,18	0,66%	-1,58%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,5317	4,4994	-0,71%	2,55%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	112,55	112,38	-0,15%	1,85%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	131,34	131,30	-0,03%	0,91%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	75.856	76.594	0,97%	6,20%	88.318	69.069
CDS Brazil 5yrs		bps	249,70	243,76	-2,38%	-7,64%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11,45	11,40	-0,44%	-7,41%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,88	6,82	-0,87%	-5,67%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3392	2,3360	-0,14%	-0,20%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	194,00	193,73	-0,14%	-3,18%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。